

第9回秋田市マイタウン・バス北部線運行協議会議事要旨

開催日時 平成26年1月24日(金) 午後2時00分～3時30分

開催場所 下新城地区コミュニティセンター

委員数 16名

出席委員 11名

次第
1 開 会
2 議 事
 (1) 利用状況について
 (2) アンケート調査結果について
 (3) その他
3 閉 会

事務局 開 会

会 長 議事(1)の利用状況について、事務局より説明願う。

事務局 (1)利用状況について説明

会 長 今の説明で意見等無いか。

委 員 特になし。

会 長 議事(2)のアンケート調査結果について、事務局より説明願う。

事務局 (2)アンケート調査結果について説明

会 長 今の説明で意見等無いか。

委 員 意見なし。

会 長 マイタウン・バスの利便性だが、乗り継ぎが不便だとか予約が面倒という人がいる。また、5分過ぎてからだめだと言われたことがある人がいたが、それは守った方が良くと思う。

委 員 マイタウン・バスの利用者が減ると廃止になるのか。

事務局 廃止ではなく、利用率の低い便を利用率が高い時間帯の便に変更するなどの可能性があるということである。

委員 アンケート調査で利用者が少ないという結果が出ているが、免許を持ってない人などは不安であり、病院なども診療時間がかかり増した場合バス利用が大変である。年を取ると免許が無くなるので利用したいと考えている人もいると聞いている。

委員 例えば、地域の会合などの場合に皆さんに利用してもらうなど利用促進してもらいたい。

会長 マイタウン・バスは、請願してやっと運行してもらったものであり、長い歴史がある。今後も、マイタウン・バスの存続に向けて議論を続けていきたい。

委員 金足地域の要望であるが、秋田駅まで延伸できないか。また、定時定路で運行してもらえないかという話も聞いている。

委員 コインバスの100円制度も良いが、500円かかってもいいから秋田駅まで延伸できないか。

事務局 秋田駅までの延伸は、路線バスとの競合になり、バス事業者との調整も難しい。また、他地区からのマイタウン・バスにおいても同様の要望はあるが、公平性の観点からも延伸は困難である。定時定路については、北部線の路線は、枝線がかなり複雑であるため、運行に時間を要するし、平成22年の協議会では、定時定路については反対であった経緯もある。

委員 全ての人に都合の良い状況でバスの利用はできない。今は、1時間に1本来てくれるし、今のバスが無くなれば大変である。

委員 廃止された路線バスを市がカバーしてくれているので、利用者がもっと考えて良い方法を出す必要があるし、理解する必要もある。もっと利用に対しての認識を高め、拡大してもらいたい。

委員 マイタウン・バスのPR用のポスターや時刻表などの全戸配布などが必要ではないか。

事務局 平成26年度予算にPR用ポスターや時刻表の配布などについて予算を要求している。

- 委員 | これからの市のPRなどの方法には協力していきたい。
- 委員 | 予約は1時間前と決まっているが、柔軟な対応はできないか。
- 委員 | 始発から終点まで1時間程度かかるため、対応は難しい。
ただ、タイミング良く走ってくれば乗れる。また、予約センターに連絡して
くれれば乗れる場合もある。
- 事務局 | PRの方法として逆に皆さんから提案はないか。
- 委員 | 町内会館などにポスターや時刻表等を貼って欲しい。
今回1回限りではなく、数年に1回など継続してやって欲しい。
また、4月の地域の総会などで配布したい。総会に説明しに来てもらっても
いい。
時刻表や路線図などの作成は、地区ごとに別々に作成して欲しい。
高齢者は、3地区が一括で記載されていると分からないため。
- 会長 | それでは他に意見がなければ議事を終了する。

—協議会終了—